

支援情報等のお知らせ

- 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - 1 学校から離れ、進路が決まらないでいる方はいませんか
 - 2 様々な悩みを抱える青少年の自立・再学習支援について
- 自立支援に関するイベント等の情報
 - 3 研修会「不登校傾向の子どもの居場所支援」
 - 4 ひきこもり家族教室『本人と家族の気持ち 対話の工夫』
 - 5 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ56」
- 民間活動団体等の紹介
 - 6 沼田市 NPO法人ミニヨン・スター

1 学校から離れ、進路が決まらないでいる方はいませんか

新年度がスタートして一か月余が経ちました。それぞれの進路に向かって新たな一歩を踏み出しているかと思えます。

しかし、様々な事情で長期欠席が続いたまま中学校を卒業したり、高校を中途退学して進路が決まらないでいる若者がいます。なかには高校入学後から休みが続いて転学を考え始めている場合もあります。

県では、中学校・高校の支援から離れて、支援を必要として若者、その保護者を対象にした相談・支援を行っています。

近くに支援を必要としている方がいたら情報提供をお願いします。

【支援の仕組み】

県では「高校中退者等支援事業」として、
・中学校を卒業したものの進路が決まらないでいる（中卒進路未決定者）
・高校を中途退学したものの進路が決まらないでいる（高校中退者）
を対象に、本人やその保護者の支援（再学習・就労に対する相談・支援、支援情報の提供）を行っています。
支援希望者には、面談（保護者のみも可）を実施、本人の状況に応じ
伴走支援を行う支援員（民間支援団体委託）を派遣しています（無料）。

【支援情報】

- ・リーフレット「進む道は必ず見つかる！ 一歩を踏み出そう！」
- ・「支援に関する同意書」（※）

※ 支援にあたって個人情報を利用するため、支援を希望する本人及び保護者から「支援に関する同意書」の提出をお願いしています。

なお、支援資料は県ホームページからダウンロードしてください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/3778.html>

【相談・問合せ連絡先】

群馬県子ども・若者支援協議会（県私学・青少年課青少年育成係）
電話 027-898-3557
e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

2 様々な悩みを抱える青少年の自立・再学習支援について

群馬県では、群馬県青少年育成事業団に委託して、以下の支援事業を行っています。

【G-SKY Plan】

UniPath（いわゆる不登校）等、様々な悩みを抱える青少年やいわゆる「ひきこもり」や「ニート」状態にある青少年やその保護者等を対象に、相談や体験活動を通じた自立支援を行っています。

専属のコーディネーターが面談で対応し、本人や家族の希望を丁寧に聞きながら体験活動を行う事業所につなげています。

詳しい内容はこちらをご覧ください。

⇒ <https://www.gyc.or.jp/activities/g-sky-plan/>

【ステップアップ支援促進事業】

学習相談員が中学卒業後の進路相談を受け、高校卒業程度認定試験に向けた学習支援を行っています。

詳しい内容はこちらをご覧ください。

⇒ <https://www.gyc.or.jp/activities/stepup/>

【問合せ先・担当者】

群馬県青少年育成事業団 電話 027-234-1131

■G-SKY Plan：山口

■ステップアップ支援促進事業：小林

3 5/24 ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク 研修会「不登校傾向の子どもの居場所支援」

ぐんまの子ども・若者支援ネットワークでは、困難な状況にある子ども・若者を支援している個人および団体、子ども・若者支援に関心のある方を対象に研修会を公開します。

研修会では、事例報告やパネルディスカッションを通じて、これからの子ども・若者支援に求められる視点や子ども・若者への多様なアプローチについて理解を深めるとともに、本県における子ども・若者支援の促進を図ることを目的に開催します。

なお、研修会の前に会員を対象に総会（13:30～14:00）を行います。

【研修会の内容】

日時 令和8年5月24日（日）14:15～15:30

当日は、13:30から総会を開催します。

非会員については、研修会のみ参加となります。

会場 群馬県公社総合ビル 1階 西研修室
（前橋市大渡町1-10-7）

研修会

テーマ「不登校傾向の子どもの居場所支援」

事例報告者：

守谷市社会福祉協議会（茨城県）地域福祉係 主任 大澤 心悟 氏

守谷市民生委員児童委員連合協議会 主任児童委員 宇佐見 一夫 氏

通信制高校教諭によるパネルディスカッション

パネリスト

わせがくPURE高等学校 守谷キャンパス 教諭 松下 安希子 氏

つくば開成高等学校 守谷校 教諭 加藤 重徳 氏

進行役

本ネットワーク副代表 目崎 智恵子 氏（NPO法人 花 理事長）

申込方法 定員60名 参加費無料 5月15日（金）締切

詳細はこちらをご覧ください

<https://www.g-shakyo.or.jp/news/82875.html>

【問合せ・参加申込みの連絡先】

ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク事務局

社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会（権利擁護・子ども若者支援課）

前橋市新前橋町13-12

TEL：027-255-6111 Mail：kenri-kowaka@g-shakyo.or.jp

【非会員の方の申込先】

下記Webフォームよりお申込みください。

4 5/26 ひきこもり家族教室『本人と家族の気持ち 対話の工夫』

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学ぶことで、ご家族自身の気持ちにゆとりが生まれ、本人との関係性が変化していきます。

【参加者の声】

「皆さんのお話から元気をいただいた」
「工夫できるところが見つかった」
「気持ちに余裕が持てるようになった」
「選択肢が広がった」 etc...

■教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。

「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

■初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、下記連絡先までご連絡ください。

■家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。こちらからダウンロードしてください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/632294.html>

【5月の家族教室】

教室：5月26日（火） 第4火曜日 13:30～16:00

内容：『本人と家族の気持ち 対話の工夫』とは

前半：家族教室 13:30～15:00（受付13:00）

後半：家族の居場所 15:00～16:00（受付14:30）

◆ご家族同士で感想等をお話しする時間です。

◆前半「家族教室」に参加したことのある方は、後半「家族の居場所」のみの参加も可能です。

会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）

連絡先：ひきこもり支援センター

専用ダイヤル 027-287-1121

月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始は除く）

※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

■支援者の方の参加もお待ちしております。

※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

5 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ56」
電子ギフトカードの買取りサイトに注意！

電子ギフトカードとは、オンラインでの支払い手段として利用できるプリペイドカード（前払い式）のひとつです。遠く離れた場所にいる相手であっても、メールなどでコード番号を知らせれば、受け取った人はコードを入力するだけで利用できる便利な仕組みですが、利用の仕方次第では思わぬトラブルを招くことがあります。

消費生活センターには、電子ギフトカードの買取りサイトでトラブルに遭ったという相談が寄せられているので紹介します。

●相談事例

- ・ギフトカードのコード番号を買取り業者に電子メールで送ったが、入金されない。
- ・広告に高い換金率が書かれていたが、実際の入金は僅かだった。

後で利用規約を確認したら「お急ぎの場合は手数料が90%」と書かれていた。自分からお急ぎにした覚えがないので、最初からお急ぎ依頼にチェックが入っていたと思われる。

- ・買取り業者から売却したギフトカードが使用済みだったと言われ、返金を求められている。

●一言アドバイス

- ・ほとんどの電子ギフトカードの規約では、転売や換金は禁止行為とされているため、買取りによるトラブルの救済を求めても、規約違反により発行元や運営会社の協力を得ることができません。
- ・規約違反行為の場合は、消費生活センターから事業者申し入れすることもできません。
- ・利用規約をよく読まないまま安易に「同意する」にチェックしないようにしましょう。

★こまったら、まず相談！！

消費者ホットライン「188（いやや）」

※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通3桁の電話番号です

《お問い合わせ》

群馬県消費生活センター 027-223-3001

<https://www.pref.gunma.jp/page/8392.html>

6 民間活動団体等 沼田市 NPO法人ミニヨン・スター

2024年6月、沼田市と連携して中心市街地空き店舗対策事業「街なか屋」で、「みんなあつまれぬまたのひろば」をオープンしました。

ひろばでは、駄菓子販売のほか、障がいのある人たちが機織りの作業を行い、バッグやスマホケースを製作して販売も行っています。年齢に関係なく、子どもからお年寄りまで集まれる居場所づくりを目指しています。

また、毎月第3土曜日12時から「子ども食堂」も開催しています。

【公式instagram】 https://instagram.com/npo_minion.star/

2025年度からは、群馬県ひきこもり支援のための広域的居場所づくり事業で、ひきこもり状態の本人や家族が安心して出かけられる「居場所」として、毎月作品づくりなどを開催しています。

【県HP】

<https://www.pref.gunma.jp/page/647169.html>

2026年6月7日（日）には、「ひきこもりソーシャルワークI N 金剛院」と題してドキュメンタリー映画（58分間）の上映会を開催します。

■ 上映会

日程 6月7日（日） 【第1部】開場10:00/上映10:30

【第2部】開場13:00/上映13:30

ひきこもり経験者によるトークショー14:30~15:30

会場：金剛院 本堂（沼田市坊新田町1108）駐車場は金剛院を利用

定員：各回30名（鑑賞無料）

申込：NPO法人ミニヨン・スター TEL：0278-25-8575

直通・リモート：090-7339-2527

Eメール：soudan@miniyonstar.jp

■ 映画作品

MyPace MySpace ~ひきこもりソーシャルワーク

自分らしく生きること 世間の「普通」じゃなくてもいいんだよ

【監督・編集】古賀陽一 【プロデューサー】中橋真紀人

【出演】創HAJIME-CAFEの皆さん、山本耕平（社会福祉法人一麦会理事長）

岸本周平（前・和歌山県知事）

【製作】有限会社イメージ・サテライト

【共同製作】一般社団法人障害者映像文化研究所

【あらすじ】

「人に迷惑をかけている気がしてしまう」「私は、どこにいても居場所

がないような気がする」——『創HAJIME CAFE』で働く人は、かつて“ひきこもり”だった人たち。
一步を踏み出し、社会と再びつながり始めた彼らは、日々不安や葛藤を抱えながらも、自分らしく働こうとしている。
カフェと一緒に働く支援スタッフは彼らと向き合い、「普通」とは少し違う、“その人に合った働き方”を、共に試行錯誤しながら実践してきた。古民家を改装した、ぬくもりあふれるカフェ空間。
ここには、張り詰めた心をそっとほどいてくれる時間と、誰かとながれる居場所がある。



次号は、2026年6月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部
私学・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-898-3557
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3
県HP「子ども・若者への支援」